土佐清水市経済団体連絡協議会からの要望の概要【商工労働部】

|  |  |
| --- | --- |
| １日　時 | 令和２年１月30日（木）13:40～14:00 |
| ２場　所 | 高知県庁本庁舎２階　第二応接室 |
| ３出席者 | 協議会 ： 廣田土佐清水商工会議所顧問、橋本高知県議会議員、  磯脇土佐清水市副市長ほか  高知県 ： 近藤部長、経営支援課（山本課長、岡村補佐） |
| ４概　要 | 【要望事項１】  魅力あるまちづくりに向けた中心市街地振興施策の充実を要望する  ・「土佐清水市商店街等振興計画推進事業」の事業者等・行政・商工会議所が一体となった効果的な推進  ・チャレンジショップを活用し、創業支援および中心市街地の若手商業者の独立・業種業態転換支援により定着率を向上  ・空き店舗対策と個店の店舗魅力向上によって集客力を高める一方で、観光客等にも立ち寄ってもらえる個店の商品・サービス向上等環境整備の促進  【回答１】  「土佐清水市中心市街地商業振興計画」を拡充し確実に実行するため、今年度より「商店街等振興計画推進事業費」を活用し、アクションプランに位置づけられた様々な取り組みを進めているとお聞きしております。  　　県としましても、こうした取り組みを持続・発展させていくことが、中心市街地における若手商業者の独立・業種業態転換の促進や、空き店舗への新規出店、個店の魅力向上に繫がると考えております。  　　令和２年度からは、チャレンジショップ事業費を商店街等振興計画推進事業費に組み入れ、計画のアクションプランに位置づけて、空き店舗を活用した新規出店に繋げていただきたいと考えております。  今後も、商工会議所と連携を図りながら、チャレンジショップの運営や、従来の空き店舗対策事業についても継続支援し、積極的に中心市街地の活性化を進めていきたいと考えています。  〖要望事項２〗  既存の商工会議所について、南海トラフ地震による津波浸水予測や倒壊が危惧される中、会館の高台移転が喫緊の課題であることから、県当局の助言や移転の際の財源確保について支援をお願いする。  〖回答２〗  災害が起きた際は、早急に相談窓口を再開することが重要であると考えますので、そのためにもまずは策定済みの事業継続計画（ＢＣＰ）について、内容に問題がないかなど引き続き継続的に見直していただきたいと思います。  ご要望のありました高台移転につきましては、まずは移転の規模等の確認し、公共の建物等への賃貸契約や、国の地方創生拠点設備交付金を活用した立替などの方法も検討していただきたいと思います。 |